

〔上原喜代子議員 登壇〕

○12番 上原喜代子さん それでは、通告書にしたがいまして一般質問をしてまいります。

1. 長寿県復活食の応援事業について（1）今年度も長寿県復活食の応援事業において、『はえばるカレンダー』を作成し配布する予定でしょうか。（2）はえばるカレンダーは、その月が終われば破棄してしまいます。南風原町の特産品ご当地グルメマップのように冊子として保存版にできないでしょうか。（3）レシピを作成するにあたり、沖縄の食材を一目で理解でき日常で活用できる施策ができないか。例えば、沖縄野菜等の栄養的な特徴等を分析して栄養価の高さや豊富さ、調理法を取り入れてはどうでしょうか。さらにその食材に対して、スーパーフードのような位置付けで紹介できないものなのでしょうかお伺いします。

（4）八重瀬町では、給食のレシピをランチョンマットにして配布しているようです。本町も給食用にランチョンマットを作成できないか。沖縄食材がいかに健康に寄与している食材であるか、常日頃から食育の観点からも慣れ親しむ環境づくりも必要と考えますがいかがでしょうか。

2. 南風原町青年海外派遣事業について（1）南風原町青年海外派遣事業は、平成25年度から開始されています。今年度も141万円の予算で町民2人をハワイへ1カ月間派遣するという事業であります。状況としていつまで継続していける事業なのでしょうかお伺いします。（2）派遣する成果を考えたとき、南風原町の青年にこれだけはぜひ体験して欲しい、学んで欲しいと望むものはなんでしょうか。（3）人選はどのように行っているのでしょうか。（4）研修後の報告会等は実施しているのでしょうか。以上、2点よろしくお願ひします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目、長寿県復活食の応援事業について（1）にお答えします。今年度もはえばるカレンダーを作成し世帯配布をする予定であります。（2）についてです。はえばるカレンダーは、健康長寿の復活に向けて、町民に食事の基準量を伝える、食品に含まれている脂の量を伝える、油を使わない野菜料理を伝えることを目的に作成しています。今後、長期的に活用できる方法として保存版の作成を検討してまいります。（3）についてお答えします。レシピを作成するにあたり、食材については町民の声を基に町民が日ごろ食べている野菜を取り入れております。その食材の中には沖縄野菜等もレシピのメニューや資料に含めております。今後も沖縄野菜等を取り入れながらレシピや資料の作成を検討してまいります。以降については教育委員会でお答えします。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 上原喜代子議員の質問事項1についてお答えいたします。(4)でございますけれども、本町においては毎月献立表を作成し、全児童生徒に配布するとともに、給食時には児童生徒による校内放送をとおしてメニューなどの説明を行い食育を学ぶ機会としております。今後もレシピのランチョンマットなど調査研究し、食育についてより効果的な取組を行ってまいります。

質問事項2でございます。(1)でございますが、青年海外派遣事業は一括交付金を活用した事業であり、同交付金の事業計画は平成25年度から平成33年度までの事業計画となっております。(2)南風原町人会との交流や異文化体験をとおして国際的な視野を広げるとともに、今後の各種交流事業において意欲的に活動する人材、町の将来を担う人材になって欲しいと望んでおります。(3)派遣者の選考については、町広報等で募集案内をし、南風原町青年海外派遣研修生選考委員会設置要綱による5人の委員により応募書類による書類審査、個別面接を行い決定いたしております。(4)でございます。研修終了後には研修報告会を開催し、報告書については年度末までに発刊をしております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん それでは、再質問をさせていただきます。(1)ですが、今年度もはえばるカレンダーを作成して世帯に配布するという答弁をいただきました。健康レシピカレンダーを『ハイさいよ～さん』で見ると、平成26年度に298万円、平成27年度に556万円、平成28年度は346万円の予算計上となっております。平成27年度の556万円に関しては、ちむぐくる館の壁画が含まれていますのでこの成果に関する報告書も見ると予算減40万円程度になっていると理解しております。平成27年度の内訳として、レシピカレンダーのみの経費はどうなっているのでしょうか。

宮城清政君 休憩します。

休憩(午後2時20分)

再開(午後2時22分)

○議長 宮城清政君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。平成27年度の事業費としましてトータルで510万8,400円、そのうちレシピカレンダー作成委託業務については442万8,000円でございます。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん このレシピ作成の経費が平成27年度は442万8,000円だと聞かせていただいたのですが、作成するにあたって年々増加傾向にあると理解してよろしいのですよね。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 今年度のはえばるカレンダーにつきましては、レシピと資料も入ってきています。そのために委託料が少し減っているという状況です。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん では、今の部分も含めて(2)に移りたいと思います。健康レシピカレンダーには、家庭用と事業用の2種類があって、平成27年度の成果報告によると世帯配布数が1,200部で、事業者配布が1,000部となっているのですが、今のいろいろな委託料が増えたから平成27年度は442万8,000円になったと答弁があったのですけれども、この世帯数が増えたということも考えられますか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。平成27年度の世帯の配布数は1万2,000部でございます。そして、先ほど課長から答弁がございましたが平成28年度は委託料が減っております。それは資料等増えてはいますが自前でできる分は自前で取り組んでいく、保健師、栄養士と自分たちでできる部分は自分たちで取り組むということがありまして、平成27年度より事業費としては減っております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん 大変失礼しました。世帯配布数1万2,000部だと調べてあります。では、だいたい横ばい状態で配布しているのではないかと理解いたしますが、世帯配布1万2,000部、事業所配布が1,000部となっているそれは私が思うにカレンダーですから破棄してしまうのですよ。ですから、あとで見たいと思ったとき、参考にしたいと思ったとき手元にはないということがあって、大変もったいないと考えました。私はハンダマの料理が一番興味を持ったものですから、参考にしたのですけれども、これが何月だったか自分のなかで把握がなくて、成果を見たら3月だったような写真が載っていたわけですが、興味を引いたものが1月から12月までの間に1枚でも2枚でもあればこれは成果としてはいいのではないかと評価はします。これが保存版であればいつでも町民がその野菜に

関心を持つこともありますので、その保存版を重宝できるようにしていただきたい思いで質問をいたしました。保存版も検討いただくと答弁をいただいていますので、ぜひよろしくお願いたします。

この印刷物ですが、その中には油を使わない料理ですとか、私も説明会に参加しましたがけれども沖縄県民は油を使う料理が多いということで油を使わない料理の説明を聞いていいことだと奨励した側ではあるのですが、その油に対する関心、スプーン1杯はどれぐらいだよと大きじ1杯、小さじ1杯もいろいろと参考にしていけると思っておりますので、そのへんは大いに宣伝していただきたい、レシピとして使っていただきたいと思っております。

(3)に移りますが、このレシピを作成するにあたってスーパーフードと申し上げたのですが、今、量販店においてもスーパーフードコーナーが設けられていて、その言葉を聞いただけでもすごい特別な感じがするのですよね。でも特段難しいことではなくて、昔ながらの食文化であり必須栄養素や健康成分を多く含む食材のことということで美容や健康維持にお勧めの食材だと説明はあります。琉球大学産学官連携推進機構として西原町に沖縄スーパーフード事務局というのがあるようなのです。そこでいろんな研究をして安心・安全な食材を奨励し、研究を進めているということでもありますので、またこのスーパーフードの火付け役としてスーパーモデルが大いに活用しているという説もあるようであります。そのなかで最も注目されているのが、沖縄の島野菜と言われているものなのですよ。私たちは見落としがちではあるのですが、フーチバーとかハンダマ、ニガナ、サクナ、ニガウリ等々、沖縄の食材はほとんどそのようにして言われているものですから、レシピを作成するにあたってこの栄養素の分析などもこれに載せることができれば、もっと皆の見る目が違ってくるのではないかと考えるのです。そういう検討はできないものでしょうか、お伺いします。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 島野菜については、これまでも新聞報道などでもありますように、ビタミン類などとても豊富に含んでいるという情報もあります。分析については、私たちのほうでもやっている島野菜もありますので、その情報も含めて町民にお知らせできるように資料やレシピを検討していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん 若い世代になってこういう島野菜に関する情報と言うか認識がいまいち薄れているのではないかと考えるものですから私は島野菜というふうにして質問をしています。私の家の側にミニ公園があるのですが、そこで食材のバランスを考えて長

命草も植えてありまして、他の苗木とか挿し木に関しては株分けしてちょうだいと頼まれるのですけれども、この長命草に関してはどなたも話をしてこないのです。私はその人たちの庭にそれは植えられているのかなと思ってちょっと見たら、それらしきものはないのですよね。私は時々、若葉を摘んでかちゅーぐわーにしているのですけれども、長命草はよく繁茂します。この繁茂するぐらいの食材がありながら、それが活用できていないことは他の食材についても同じではないかと懸念するものですから、この質問をいたしました。ホウレンソウと比較して栄養素の分析をすると、長命草はカルシウムが7倍で、ビタミンA、ナイアシン、食物繊維が多いということでもあります。カレンダー作成にあたって、特別なのだよとそういう表示をしていただけたらと思いますので、ぜひスーパーフード、先ほど言いました事業所もあることで研究をなさっている先生方もいらっしゃるということですので、そういうところもさんこうにしながら、皆が普段あるものを多いに活用できるような方法をお願いしたいと思っております。

(4)に移りますが、八重瀬町のランチョンマットと申し上げたのは、八重瀬町は献立表をランチョンマットにして配っているそうなのです。うちの場合も毎月、献立表が配られますよね。だからお昼ごはんも夕飯がダブらないようにと父兄は活用しているのだろうと理解するのですが、私が言いたいのは、配膳の中にランチョンマットみたいな透明のものを作成して、カラーで野菜が分かりやすいようその栄養素を紹介できないかということです。そうすれば、常日頃見ている、自分たちが好き嫌いしている野菜でもこれってスーパーフードなのかと子どもたちが認識していけることが、バランスのとれた食事となっていくのではないかと思うものです。そのランチョンマットは作成できるのでしょうか。ぜひしていただきたいと思っておりますが、よろしく申し上げます。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 素晴らしいご提案をありがとうございます。今言われたランチョンマットについては、食育の観点から非常に効果のある事業ではないかと考えていますので、前向きに検討していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん このランチョンマットに関して、私は何も全校生徒にすぐなさいということではないのです。今、食育の応援事業の中で学童生活習慣病予防健診及び保健指導ということで事業がありますよね。その対象となる五年生からまず手始めに実施してみてもどうかということです。子どもたちの血液検査イコールバランスの良い食生活という部分で認識できるものではないか。子どもたちにこのスーパーフードという感じで言えば特別な物を食べて自分たちは健康になりたいという、こういうものを食べないと血

液にいろんなものが出てくると関連付ければいいのかということでは私は提案しているのですが、やはりこれは民生部長、教育部との連携だと思いますのでそのように連携はできるのでしょうかお伺いします。

○議長 宮城清政 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 今、ご提案の件につきましては、民生部と連携して実施してまいりたいと考えております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん 血液検査についてもあまりまだ浸透していないような部分もありますので、ぜひそこも捉えながら浸透させていただきたいとお願いしてこの件は終わりたいと思います。

2に移りまして海外派遣事業についてですが、いつまで継続していける事業なのかの質問に対して、一括交付金を活用した事業であり、同交付金の事業計画は平成25年度から平成33年度までと答弁をいただいたのですが、そうなった場合は25年から実施して9年掛ける2人ですから18人を派遣していくということなのですよ。私がこれに関して質問に取り上げたのは、この事業にとっても魅力を感じるからなのです。なぜかと言いますと、所管は違うにしても「女性の翼」というのがありましたよね。あれは結構長期的な事業でしたよね。女性の翼が体験したものを新聞に手記を載せたりして、それを読んでこういうことがあるのかと関心を持った覚えがあるものですから、そのようにしてせつかくの研修生ですから長期的に取り組んで育てていきたいと感じます。そしてその成果の報告のなかでは、南風原のため、後輩たちのためになる活動をしていこうという決心を新たにすると記載されているものですから、やはりその体験は後々の財産になると考えられます。この事業は始まったばかりですから、今から研究する必要があるのではないかと思うものですから、18人で打ち切るのかということでは人数的にも少ないのではないかと思うので、その点に関してはいかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 喜代子議員、ありがとうございます。われわれもこの事業は良い事業だと思って実施しているところであります。町の事業としては平成33年度までとなっていて、それ以降もわれわれ教育委員会としては続けていきたいと考えていますが、しかしながら計画書として平成33年度までとうたわれていますのでそういう回答となっております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん 長期的に継続できるよう取り組んでいただきたいと思いますのでこの件は終わります。

(2) 異文化体験をとおして国際的視野を広げるという趣旨となっていますから、私も町の将来のために活動する人、意欲的な人と捉えています。長期的にと望んだのは、与那原町が2万人規模のMICEの導入事業に取り組んでいます。私たちは人財育成をしておけばそこで活用していけるのではないかとすることがあるものですから、青年たちが自分たちの体験をとおして取り組んでいけるということを思って私は一番目にも長期的としたわけです。そのようにしてせつかく体験してきた人たちの道筋をリードしていくのは行政の役目だと思っています。体験させてやりっ放しにするのではなくて、そこまでもっていくようリードするのは行政の役目だと思うのですが、その件についてはいかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 同事業については、派遣するだけではなく帰って来てからも関わりを持っていきたいと考えております。実際に去年、南米に行かれた研修生は、今回南米から子弟研修で来ている2人を世話して事業にかかわっております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん ぜひ幅を広げていただきたいと思いますのでこの件は終わりにしたいと思います。

人選についてでありますけれども、南風原町青年海外派遣研修生選考委員会5人の委員によって書類審査、個別面接を行っているのと答弁をいただいたのですが、選考委員会に参加と言いますか応募するのは南風原町だけではないですよね。どのようになっていますか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 同事業に応募資格として、南風原町に本籍又は住所を有する者と条件を決めております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん それを聞いて安心しました。よそからも来るのかなど、それでどうやって南風原町に貢献するのかと考えたものですから、それを聞いて安心しました。

それでは、(4)に移りたいと思うのですが、研修終了後には研修報告会も開催して報告書については年度末に発刊をしていますと答弁をいただきました。私が反省しなければいけないのか、案内だとか記憶がなくて、どこで実施しているのかと思ったものですからこれを質問に取り上げたのですが、平成25年度からですから研修を受けた人たちが全員一堂に会して報告会をやっているのですか。どこでやっているのでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 報告会については、帰国後、報告がまとまり次第、文化センターで行っております。これについては大変申し訳ありませんでした。随時、報告会案内等も行っておりませんでしたのでお詫びいたします。今後は報告会の案内や報告書も議員の皆さんへ配布していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。

○12番 上原喜代子さん やはり報告会は案内がなかったということでした。この南風原町青年海外派遣事業実施要項を見ましても、研修終了後1カ月後、町長へ報告書を提出するということであって、この報告会を持つということはどうもわかってはいないのですが、でもせっかく研修をしているわけですから研修を受けてきた人だけではなくてやはりいろんな人たちに刺激を与える意味でも報告会等はしていただきたい。そうすれば、皆の意識付けにもなりますし、それがまただんだんと幅の広がる要因にもなると思います。大学生にも呼びかけるとか、興味のある人たちがきっと集まって来ると思いますので、ぜひそのようにして幅をひろげていく報告会になるよう、そして次の後輩たちのためにもこれが基礎となって長期的にいろんな分野で活躍できるような人材育成につながる事業にしていきたいとお願いして私の質問を終わります。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 町長、副町長、教育長はじめ関係者を集めての報告会はこれまでもやっておりました。ただ、議員に案内をかけていなかったという先ほどの答弁に補足をいたします。

○議長 宮城清政君 12番 上原喜代子議員。



○12番 上原喜代子さん 私も先ほど商工会もどうですかと質問しようとしたのですが、やはり青年部が集まるのは商工会ですし、今の青年部は大いに活動していますのでぜひそういう機会がありましたら呼びかけをお願いしまして終わります。